



松崎町は、先の国勢調査の速報値において、人口の減少率が10.7%と県下で三番目に高い率となり、人口対策は待ったなしの状況にあります。また財政的には、町税の減少などにより、自主財源比率の回復が図られず、相変わらず依存財源比率は六割以上と、国の施策による影響を受けやすい不安定な状況にあると言えます。

こうしたなか、この「松崎町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」に基づく地方創生事業の推進を図ることで、自立に向けた魅力ある町づくりを積極的に展開し、産業振興や人口減少対策を実りあるものにしていきます。

総合戦略では、基本理念として、「松崎に暮らすひとの喜びが 多くの人々を誘うまちづくり」を掲げました。

松崎町に住まう町民のみなさんが、このまちに住むことに喜びを感じ、その喜びが他の地域で暮らす人々にも憧れを呼び、訪問者が増えてくる。人口減少や観光交流人口が伸び悩むなか、まちに賑わいを取り戻すためには、こうした理念を今一度、再認識すべきであろうと考えています。

歴史と伝統ある松崎町は、三余塾、岩科学校に、燦然(さんぜん)たる“ひとづくり”の歴史を刻み、近代日本においては製糸業や薪炭(しんたん)業など“ものづくり”で栄えてきました。こうした歴史にもとづく世襲財産を後世に引き継いでいくため、“ひとづくり・ものづくり”の原点に立ち返るとともに、一次産業をベースに現代の主要産業である観光業の振興に向け、“ものづかい・まちづかい”の視点のもと自然、文化など豊かな地域資源を活用した自立可能な経済基盤を構築していくことが重要であります。

このため、重点施策としては、

- 一、「平成の花とロマンのふる里づくり」の推進として、「日本で最も美しい村」連合登録資源(なまこ壁、棚田、桜葉)の持続性確保に向けた取り組み。
- 二、「人口減少対策」の取り組みとして、ICT(情報通信技術)の利活用と地域産業の再生や起業などへの支援。
- 三、地域防災力の強化に向けて、官民協働の防災まちづくり事業の推進。
- 四、社会保障の取り組みとして、子育て支援や健康長寿対策の充実。

この四点を「松崎版四本の矢」として、積極的に取り組んでまいります。

また、「日本で最も美しい村」連合フェスティバルが10月に松崎町を会場に開催されます。この機会を利用し「松崎町やろうじゃ協議会」等様々なまちづくりの団体と連携・協力し、松崎の魅力を再発見するとともに、町民の皆さんと松崎に住むことの“誇り”を共有し、オール松崎でおもてなしすることによって、“小さくとも輝く松崎”を広く発信していきたいと考えています。

町の再生・人口減少に立ち向かい、町に賑わいを創出できるよう強い気持ちで町政運営にあたります。今後とも町民の皆さまの温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

おわりに、この計画の策定にあたり、ご協力を賜りました町議会議員、松崎町日本で最も美しい村推進委員、関係各位並びに町民の皆様にご心からお礼申し上げます。

平成28年3月

松崎町長 齋藤文彦